

シビル メール ニュース



これまでに配信されましたシビルメールニュースは、「日本大学理工学部土木工学科」のホームページ (<http://www.civil.cst.nihon-u.ac.jp>)より『OB向け情報』→『シビルメールニュース』でご覧いただけます。なお、シビルメールニュースをE-mailにて配信ご希望の方または購読を希望される方は、卒業年次・氏名・勤務先・配信メールアドレスを明記の上、mailnews@civil.cst.nihon-u.ac.jpで購読申し込みをしてください。

発行責任者 土木工学科教授・教室主任 岸井隆幸

青駿祭（学部祭）が開催されます

11月2日（金）から4日（日）まで、下記①のテーマのもと駿河台校舎にて青駿祭が開催されます。土木工学科では、土木博（Civil EXPO）を企画しており、写真展や研究室ごとに設けたブースによって、研究の紹介などをミニ実験やパネル掲示を用いて行う予定です。また下記②のように、同時開催のイベントも予定されておりますので、ふるってご参加ください。



昨年度写真展 最優秀作品

中倉香代子「明石海峡大橋」

平成19年度 Civil EXPO 実行委員長からのコメント

「Civil EXPOは私たちの後輩、未来のNU Civilの学生を一人でも多く迎え入れるため、本学科に興味を持って下さった高校生やそのご家族の皆様へ、研究成果を通じて学生の力とNU Civilの可能性を伝える場所です。Civil EXPOを私たちの活気で盛り上げ、各研究室の努力と成果を発信して多くの来場者の方々に楽しんでいただきたいと思います。」

① 青駿祭テーマ

テーマ:	「Enjoy! 好事中 \(\square^\square\)/」
選定理由:	このテーマは、5号館の工事に負けず限られた中で、自分たちの出来ることを楽しくやろうという思いから、このテーマを決定した。 「好事」とは「喜ばしいこと。よい行い。」という意味で、学園祭を開催できる喜びの気持ちが込められている。また、末尾の顔文字は、若者文化である顔文字を使い、その心情を表現している。

(青駿祭実行委員会)

② 同時開催イベント

開催日時	場所	内容
11/4(日) 11時～	船橋校舎 14号館 1421教室	キャンパスウォッチング(講義:高橋正行専任講師)
11/2(金)～4(日)	船橋校舎	習志野祭 テーマ:「ADVANCE」
11/2(金) 13時～	駿河台校舎 1号館 122会議室	理工学部英語弁論大会
11/2(金) 14時～	船橋校舎 スポーツホール	留学生スポーツ大会

平成20年度A0入学試験の実施

10月21日(日)に平成20年度A0入学試験が行われました。課題提出や面接などによる審査を経て、今年度の合格者は58名でした。



試験会場となった駿河台校舎1号館

キャンパスウォッチングが行われます

11月4日（日）に船橋校舎にてキャンパスウォッチングが実施されます。青駿祭と平行して行われるキャンパスウォッチングでは、公開講義と相談コーナーを設けて学科の説明にあたります。土木工学科からの公開講義担当教員は高橋正行専任講師で、詳細は以下のようになっております。

公開講義：高橋正行 専任講師 テーマ：流水デザイン - 治水・利水+環境改善技術へ- 教室・時間：14号館2階1421教室 11:00~11:30

土木スポーツ大会が開催される

9月25日（火）に船橋校舎にて平成19年度の土木スポーツ大会が行われました。このスポーツ大会は、土木工学科の学生幹事が主体となって企画・運営を行うもので、例年は11月に行われていましたが、今年は行事の関係で9月の開催となりました。午前9:45から開会式が行われ、残暑の中、約7時間にわたって各種競技が行われました。

17:00からはファラデーホール（学生食堂）にて懇親会が行われ、各競技の優勝チームの発表と、軽食・ビンゴ大会などで大いに盛り上がりました。バイキング形式の食事でしたが、運動をしてお腹をすかせた学生を前にあつという間に完食となってしまいました。

なお、この土木スポーツ大会の反省会が9月29日（土）17:00から、駿河台校舎ウェルトンビル51教室にて行われ、学生（学生幹事）15名と教員9名が参加して熱く議論し、来年への反省としました。反省会后、そのまま学生と教員との懇親会となり、当日は準備と進行に忙しかった学生への慰労会となったようです。



大会競技中の1場面

平成19年度覚書に基づく西安理工大学からの派遣教員の受け入れについて

西安理工大学岩土工学科副教授、范留明（ファン・リュウミン）教授が平成19年11月16日から12月14日まで、塩尻弘雄教授の下で研究されます。

平成19年度学術賞等表彰式に伴う学位取得者について

志水茂氏（S53年土木卒 現：(株)都市活力研究所 取締役）が下記の通り学位を取得されました。

学術賞等表彰式に伴う学位取得者

氏名	大学院名	学位の種類	取得年月	論文名
志水 茂	東京海洋大学大学院 海洋科学技術研究科	博士(工学)	平成19年3月	首都機能移転・業務核都市育成による居住・従業人口の変化が交通・環境に与える影響とその評価に関する研究

日大土木 Who's who

日大土木とともに歩んだ偉人を紹介するコーナーです。今回は日本大学高等工学校の創立に尽力され、河川工学講座を開き、教鞭をとられた**富永正義**先生です。



No. 6

氏名：富永 正義（とみなが まさよし）

専門分野：河川工学

略歴：

- 1893年（明治26年） 新潟県三島郡与板町に生まれる
- 1917年（大正6年） 東京帝国大学(現東京大学)土木工学科卒業後
内務省へ入省、東京都土木出張所勤務
- 1920年（大正9年） 日本大学高等工学校教授
- 1929年（昭和4年） 土木局に転籍
- 1942年（昭和17年） 名古屋土木出張所に転任
- 1945年（昭和20年） 内務省退任
- 1976年（昭和51年） 他界

富永先生は、河川の洪水について広範な観測と研究を行うとともに、護岸・水制工法の改良にも貢献されました。関東大震災では利根川の堤防が3~4m沈下するなどの大被害を受けましたが、新工法「杭打ち上置工」などを駆使され、わずか10日間程度で応急復旧工事を終了させました。その後、杭材を木材からRC杭に変更するなどの処置が採られましたが、基本的にはこの工法によって台風による洪水も関東平野に大きな水害をもたらすことなく、今日に至っています。

土木局に転籍されてからは、直轄河川の調査・計画に専念されています。この間に着工された河川は、川内、鳥神流、最上上流、手取、小矢部、常願寺、阿武隈下流、木曾下流増補、肝属、黒部、球磨、久慈、豊、利根増補、庄、猪名、菊池、渡良瀬上流、大分、鬼怒川ダム、北上上流、那珂の22河川に達します。ここでは特徴的な二つの工事例を紹介いたします。

利根川増補計画では、長年にわたる研究と当時の河川改修技術を駆使され、昭和14年に着工しました。後に、昭和16年の洪水を考慮して計画の一部を修正しています。先生は、利根川治水計画として論文にとりまとめ、工学博士の学位を得られました。

北上川上流改修計画は、幹支川の5カ所に多目的ダムを配置した画期的な計画であり、今日の河川総合開発の先駆をなすものであります。

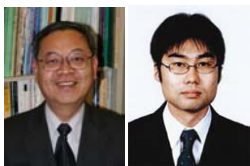
参考文献：土木人物事典 藤井肇男 著 アテネ書房

土木と200人 土木学会



田瀬ダム 湯田ダム 石淵ダム
四十四田ダム 御所ダム

最近の教員活動状況



島崎敏一教授と下原祥平助手が9月23日(日)から28日(金)まで中華人民共和国 大連へ「EASTS(東アジア交通学会)」に参加するため出張いたしました。島崎敏一教授はこの学会での委員会に出席し、座長を務められました。また、下原祥平助手は「Cellular Automata Model of Pedestrian's Group Behaviour」のテーマで研究発表を行いました。



齋藤利晃准教授が10月17日(水)から19日(金)まで第16回日韓水環境シンポジウムにおいて研究発表を行うため、韓国の釜山へ出張されました。

齋藤利晃准教授が9月18日(火)から20日(木)まで熊本大学工学部で行われた第10回日本水環境学会シンポジウムへ参加するため出張しました。



吉田征史助手が10月27日(土)から11月5日(月)まで第2回国際水学会アジア会議への参加、および研究発表のためオーストラリア、パースへ出張されました。研究タイトルは「DEVELOPMENT OF THE MODIFIED ACTIVATED SLUDGE MODEL DESCRIBING NITRITE INHIBITION OF AEROBIC PHOSPHATE UPTAKE」

理工学部人事について

松島眸教授と野村卓史教授が平成19年10月1日をもって下記の役職に任命されました。

氏名	資格	役職
松島 眸	教授	理工学部学生担当・理工学部学生生活委員会委員長
野村 卓史	教授	理工学部就職指導担当・理工学部就職指導委員会委員長

平成19年度学術賞等表彰式について

下記の通り平成19年11月9日(金)の学術賞等表彰式において、下記の方々が理工学部より表彰されます。

氏名	所属/役職・資格	受賞名	研究課題・表彰の内容
齋藤 利晃	日本大学理工学部 准教授	理工学部学術賞	脱窒能力を有するリン蓄積細菌の探索と低環境負荷型新規栄養塩除去プロセスの開発
森元 峯夫 (S.34 学部卒)	株式会社エス・イー 代表取締役社長	コマンドゥール勲章 (フランス政府国家功労賞)	40年余にわたる日本との土木技術・文化交流の実績
川嶋 実 (S.47 学部卒)	株式会社川嶋建設 代表取締役社長	平成19年度建築事業関係功労者賞 (国土交通省)	多年にわたる建設事業の振興
志水 茂 (S.53 院卒)	株式会社 都市活力研究所 取締役	論文賞 (日本計画行政学会)	広域旅客流動に伴う所要時間・エネルギー消費量および二酸化炭素排出量を用いた高速道路の重点整備方等に関する研究
田中 和博	日本大学理工学部 教授	感謝状 (東京都知事)	平成11年5月から19年5月まで8年間にわたり東京都環境影響評価審議会委員として、水質汚濁、土壌汚染の分野で環境行政の推進に多大な貢献をした 多年にわたり下水道に関する多くの要職にあってその進歩発展に貢献した
		功労賞 (社団法人 日本下水道協会)	
松島 眸	日本大学理工学部 教授	功労賞 (社団法人 日本水環境協会)	学会の発展に尽力した功績
野村 卓史	日本大学理工学部 教授	平成18年度日本風工学会賞 論文賞	気象要因を考慮した音の伝播の数値解析法に関する研究 (総合題目)
高橋 正行	日本大学理工学部 専任講師	土木学会平成18年度全国大会 第61回年次学術講演会優秀講演者賞	階段状水路におけるNappe flowのエネルギー評価方法
仲村 成貴	日本大学理工学部 助手	土木学会平成18年度全国大会 第61回年次学術講演会優秀講演者賞	未知の地動入力に対する構造物の動特性推定
吉田 征史	日本大学理工学部 助手	第42回環境工学 研究フォーラム論文奨励賞	生物学的排水処理(リン除去)に関する研究の奨励